



令和6年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 モリ工業株式会社  
 コード番号 5464 URL <https://www.mory.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 宏明  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 河野 博光  
 四半期報告書提出予定日 令和5年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06(6635)0201

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第1四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第1四半期	12,053	△0.5	1,489	1.5	1,735	2.3	1,227	4.1
5年3月期第1四半期	12,115	24.8	1,467	20.8	1,696	30.9	1,178	15.3

(注) 包括利益 6年3月期第1四半期 1,678百万円(41.7%) 5年3月期第1四半期 1,184百万円(35.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
6年3月期第1四半期	円 銭 158 08	円 銭 —
5年3月期第1四半期	151 80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
6年3月期第1四半期	百万円 65,905	百万円 51,324	% 77.8	円 銭 6,602 95
5年3月期	65,761	50,732	77.1	6,527 42

(参考) 自己資本 6年3月期第1四半期 51,270百万円 5年3月期 50,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
5年3月期	円 銭 —	円 銭 40 00	円 銭 —	円 銭 140 00	円 銭 180 00
6年3月期	—	—	—	—	—
6年3月期(予想)	—	40 00	—	90 00	130 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	△8.4	2,300	△32.1	2,400	△35.9	1,700	△35.0	218 93
通期	45,000	△7.6	4,500	△33.2	4,800	△33.1	3,400	△35.7	437 86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年3月期1Q	7,766,380株	5年3月期	7,766,380株
② 期末自己株式数	6年3月期1Q	1,635株	5年3月期	1,395株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年3月期1Q	7,764,915株	5年3月期1Q	7,766,088株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
<参考資料>	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、5月から「5類」に移行し、個人消費は人流の増加を伴いながら、外食や宿泊サービスを中心に緩やかに回復してきております。

しかしながら、ウクライナ情勢は依然として長期化しており、欧米を中心にインフレの高止まり感が広まり、金融引き締め継続による世界的な景気後退への警戒感が強まりつつあります。

当社グループが属しておりますステンレス業界では、実需の低迷や市場在庫の過剰感が継続しております。加えて、ニッケル市況は5月の連休明け以降、弱含みとなり、先安観から生じる買い控え等の動きもあり、荷動きは低調となっております。

このような状況下におきまして、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は120億53百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。前年同四半期に比べ販売単価は上昇しましたが、販売数量が減少したことにより売上高は減少しております。また収益面におきましては、製品価格と材料価格の値差が微増しているため、営業利益は14億89百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。経常利益は受取配当金や持分法による投資利益の増加が寄与し、17億35百万円（前年同四半期比2.3%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、12億27百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

#### (日 本)

日本事業の売上高は114億83百万円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント営業利益は14億33百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。製品部門別の売上高は以下のとおりです。

ステンレス管部門は、自動車用は前年同四半期と比べて数量が若干増加し、配管用は買い控え等により数量は減少しましたが、製品価格の上昇により、売上高は66億7百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。

ステンレス条鋼部門は、前年同四半期と比べて数量が減少しましたが、製品価格の上昇により、売上高は29億30百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

ステンレス加工品部門は、家庭用金物製品については令和4年9月に販売がすべて終了したことに加え、給湯器用フレキ管も振るわなかったため、売上高は2億40百万円（前年同四半期比27.6%減）となりました。

鋼管部門は、製品価格は上昇しましたが、前年同四半期に比べ数量が減少したことにより、売上高は15億74百万円（前年同四半期比14.1%減）となりました。

機械部門は、取引先が設備投資に慎重になったため販売台数が伸び悩み、売上高は1億30百万円（前年同四半期比19.4%減）となりました。

#### (インドネシア)

インドネシア事業は、3年ぶりにコロナ規制が解除され、レバラン休暇時に田舎への帰省が可能となったため、二輪車需要は回復し、二輪車向けの数量は大幅に増加いたしました。また四輪車につきましても、昨年度より需要の旺盛な状態が続いており、四輪車メーカーの新たな新車投入効果もあり、四輪車向けの数量も増加しました。

売上高は5億69百万円（前年同四半期比35.9%増）、セグメント営業利益は55百万円（前年同四半期比31.0%増）となりました。

(セグメント・製品部門別売上高比較表)

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)		前連結会計年度 (自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
日 本						
ステンレス管	6,520	53.8	6,607	54.8	26,446	54.3
ステンレス条鋼	2,847	23.5	2,930	24.3	11,156	22.9
ステンレス加工品	332	2.8	240	2.0	1,253	2.6
鋼 管	1,833	15.1	1,574	13.1	6,814	14.0
機 械	162	1.3	130	1.1	686	1.4
インドネシア	419	3.5	569	4.7	2,354	4.8
合 計	12,115	100.0	12,053	100.0	48,712	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は659億5百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億44百万円増加いたしました。総資産の増減の主なもの、現金及び預金の増加1億9百万円、棚卸資産の減少5億22百万円、有形固定資産その他(純額)の増加1億21百万円、投資その他の資産の増加5億6百万円などであり、負債は145億81百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億47百万円減少いたしました。負債の増減の主なもの、支払手形及び買掛金の減少7億36百万円、電子記録債務の増加6億93百万円、未払法人税等の減少8億80百万円などであり、

当第1四半期連結会計期間末の純資産は513億24百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億92百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が1億41百万円増加したことに加え、その他の包括利益累計額が4億44百万円増加したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.7ポイント上昇し、77.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、令和5年5月10日の決算短信で公表いたしました業績予想から変更はありません。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,329	14,438
受取手形及び売掛金	9,750	9,843
電子記録債権	6,186	5,996
棚卸資産	13,118	12,596
その他	158	145
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	43,527	43,003
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,950	7,988
その他(純額)	7,743	7,864
有形固定資産合計	15,694	15,852
無形固定資産		
その他	66	69
無形固定資産合計	66	69
投資その他の資産		
その他	6,482	6,988
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	6,474	6,980
固定資産合計	22,234	22,902
資産合計	65,761	65,905
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,838	3,102
電子記録債務	4,358	5,051
短期借入金	670	661
未払法人税等	1,284	404
賞与引当金	380	169
その他	1,754	2,177
流動負債合計	12,287	11,566
固定負債		
長期借入金	1,300	1,300
役員退職慰労引当金	171	174
執行役員退職慰労引当金	25	27
退職給付に係る負債	177	176
その他	1,067	1,336
固定負債合計	2,741	3,014
負債合計	15,028	14,581

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,149	7,149
利益剰余金	34,107	34,248
自己株式	△0	△0
株主資本合計	48,617	48,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,266	1,600
為替換算調整勘定	715	826
退職給付に係る調整累計額	86	85
その他の包括利益累計額合計	2,068	2,512
非支配株主持分	47	54
純資産合計	50,732	51,324
負債純資産合計	65,761	65,905

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	12,115	12,053
売上原価	9,347	9,164
売上総利益	2,768	2,888
販売費及び一般管理費	1,300	1,399
営業利益	1,467	1,489
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	52	106
持分法による投資利益	33	40
為替差益	131	83
その他	13	17
営業外収益合計	233	251
営業外費用		
支払利息	2	3
その他	1	2
営業外費用合計	4	5
経常利益	1,696	1,735
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,695	1,735
法人税、住民税及び事業税	373	379
法人税等調整額	142	126
法人税等合計	515	505
四半期純利益	1,180	1,229
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,178	1,227

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
四半期純利益	1,180	1,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114	334
為替換算調整勘定	91	89
退職給付に係る調整額	1	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	25	26
その他の包括利益合計	4	448
四半期包括利益	1,184	1,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,179	1,672
非支配株主に係る四半期包括利益	5	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,696	419	12,115	—	12,115
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,696	419	12,115	—	12,115
セグメント利益	1,424	42	1,466	0	1,467

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,483	569	12,053	—	12,053
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,483	569	12,053	—	12,053
セグメント利益	1,433	55	1,488	0	1,489

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

— 以上 —

<参考資料>

令和5年7月31日  
モリ工業株式会社

令和6年3月期 第1四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 R5. 3. 末	当四半期末 R5. 6. 末	増 減		前期末 R5. 3. 末	当四半期末 R5. 6. 末	増 減
流動資産	43,527	43,003	△524	流動負債	12,287	11,566	△721
現金及び預金	14,329	14,438	109	支払手形及び買掛金	8,197	8,154	△43
受取手形及び売掛金	15,937	15,840	△97	短期借入金	670	661	△9
棚卸資産	13,118	12,596	△522	未払法人税等	1,284	404	△880
その他	141	128	△13	引当金	380	169	△211
				その他	1,754	2,177	423
固定資産	22,234	22,902	668	固定負債	2,741	3,014	273
有形固定資産	15,694	15,852	158	長期借入金	1,300	1,300	—
土地	7,950	7,988	38	役員退職慰労引当金	171	174	3
その他	7,743	7,864	121	執行役員退職慰労引当金	25	27	2
				繰延税金負債	767	1,034	267
無形固定資産	66	69	3	その他	477	477	0
投資その他の資産	6,474	6,980	506	負債合計	15,028	14,581	△447
投資有価証券	3,942	4,376	434	純資産	50,732	51,324	592
退職給付にかかる資産	1,536	1,543	7	株主資本	48,617	48,757	140
その他	995	1,060	65	資本金・資本剰余金	14,509	14,509	—
				利益剰余金	34,107	34,248	141
				自己株式	△0	△0	△0
				その他の包括利益累計額	2,068	2,512	444
				非支配株主持分	47	54	7
資産合計	65,761	65,905	144	負債・純資産合計	65,761	65,905	144

2. 棚卸資産回転月数 (期末棚卸資産÷累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前第1四半期	当第1四半期	増 減
棚卸資産回転月数	2.99	3.14	0.15

3. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	設備投資	減価償却	その他処分等	為替換算増減
158	312	248	△2	92
日本 ( 82 )	( 307 )	( 226 )	( △1 )	( — )
インドネシア ( 76 )	( 5 )	( 22 )	( △1 )	( 92 )

4. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 R5. 3. 末	当四半期末 R5. 6. 末	増 減
有利子負債①	1,979	1,972	△7
現預金等換金性のもの②	14,329	14,438	109
実質有利子負債①-②	△12,350	△12,466	△116

5. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期 R4.4-R4.6	百分比 %	当第1四半期 R5.4-R5.6	百分比 %	増減
売上高	12,115	100.0	12,053	100.0	△62
売上原価	9,347	77.2	9,164	76.0	△183
売上総利益	2,768	22.8	2,888	24.0	120
販売費及び一般管理費	1,300	10.7	1,399	11.6	99
営業利益	1,467	12.1	1,489	12.4	22
営業外収益	233	1.9	251	2.0	18
受取利息	1		3		
受取配当金	52		106		
持分法投資利益	33		40		
為替差益	131		83		
その他の他	13		17		
営業外費用	4	0.0	5	0.0	1
支払利息	2		3		
その他の他	1		2		
経常利益	1,696	14.0	1,735	14.4	39
特別損失	0	0.0	0	0.0	0
固定資産除却損	0		0		
税引前四半期純利益	1,695	14.0	1,735	14.4	40
法人税等	515	4.3	505	4.2	△10
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0.0	2	0.0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,178	9.7	1,227	10.2	49

6. 当第1四半期の経常利益増減要因 (前第1四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 生産金額(量・価格含む)の増加	7	1. 固定費の増加	△66
2. 変動費率の減少	299	2. 為替差損益	△48
3. その他	2	3. 棚卸評価差損益	△155
計	308	計	△269
		差引	39